

No. 215

境町

GIKAI GUIDEBOOK

議会だより

令和8年(2026年)2月1日発行
編集/広報編集委員会
発行/茨城県境町議会(境町391-1)

Tel 0280-81-1316 Fax 0280-87-5873
URL <http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>



「世界一大きな絵EXPO2025」で境町の小学生の絵を展示

10月1日 EXPO大阪・関西万博で、特定非営利活動法人アース・アイデンティティ・プロジェクト(代表:河原裕子氏)が主催する「世界一大きな絵EXPO2025」

境町の小学校5校の児童が県代表として参加しており、学校ごとに作成した作品を合わせ完成した5m×5mの大きな絵が大阪万博会場に展示されました。



12月定例会

新春のあいさつ P2 / 議決事項 P3~ / 一般質問 P5~ / 議会活動 P8

新春のあいさつ

議長

倉持 功



新年あけましておめでとうでございます。町民の皆さまには、希望に満ちた令和八年の新春を健やかに迎えの心よりお慶び申し上げます。旧年中は、町政並びに町議会の諸活動に対し、温かいご理解とご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

振り返れば、昨年も社会経済情勢の変化や物価高騰、自然災害など、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼす出来事が多く見られました。そのような中にあつても、境町は「選ばれるまち」「住み続けられるまち」を目指し、町民の皆さまと行政、そして議会が一体となって着実に歩みを進めてまいりました。

町議会におきましては、町政運営に対する監視機能と政策提言機能の双方をしっかりと果たし、町民生活の向上を第一に考えた議論を重ねております。定例会や委員会を通じ、町の施策が公正かつ効果的

に進められているかを確認しながら、より良いまちづくりのための意見を積極的に述べております。また、議会運営においては、法令を遵守し、透明で公正な審議を行うことを基本に、町民の皆さまに信頼される議会を目指してまいります。

本年も、人口減少や少子高齢化への対応、地域経済の活性化、防災・減災対策、そして子育てや福祉の充実など、多くの課題に直面することが予想されます。こうした時代の変化に的確に対応し、町民の皆さまの声を丁寧に受け止めながら、議会としての役割と責任をしっかりと果たしていく所存です。特に、限られた財源の中で持続可能な町づくりを進めるためには、将来を見据えた健全な財政運営と、町民一人ひとりの暮らしに寄り添う視点が欠かせません。議会としても、行政と建設的な議論を重ね、より効果的な施策の実現に努めてまいります。

また、近年はデジタル化や社会構造の変化が急速に進む中、地域のつながりを守りながら、誰もが安心して暮らせる地域社会を築くことが求められています。議会としても、町民の皆さまと対話を大切に、日々寄せられるご意見やご要望を町政に反映できるよう努力を続けてまいります。

今後も、境町議会は「信頼される議会」「行動する議会」を掲げ、町民の皆さまの負託にこたえるべく、誠実に公正な議会運営に取り組んでまいります。そして、町民一人ひとりが笑顔で暮らせるまちを築くため、議員一同が心を合わせて全力を尽くしてまいります。

結びに、令和八年が町民の皆さまにとりまして、健康で穏やかで、希望に満ちた一年となりますように心よりお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

令和7年第4回定例会

【12月2日～12月5日（4日間の会期）全議案・原案可決】

補正予算関係

令和7年度境町各種会計補正予算

区 分		予算現額	補正額	補正後の金額	
一般会計(承認第16号)		214億5,222万円	2億3,203万円	216億8,425万円	
一般会計(議案第69号)		216億8,425万円	26億9,464万円	243億7,889万円	
特別会計	住宅事業(議案第70号)	5億8,600万円	334万円	5億8,934万円	
	国民健康保険事業(議案第71号)	28億4,009万円	93万円	28億4,102万円	
	後期高齢者医療事業(議案第72号)	6億3,302万円	5,192万円	6億8,494万円	
	介護保険事業(議案第73号)	20億4,116万円	964万円	20億5,080万円	
企業会計	下水道事業(議案第74号)				
	公共下水道事業	収益的収入	6億8,018万円	241万円	6億8,259万円
		収益的支出	6億8,018万円	241万円	6億8,259万円
	農業集落排水事業	収益的収入	2億7,064万円	176万円	2億7,240万円
		収益的支出	2億7,064万円	176万円	2億7,240万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
承認第15号	専決処分の承認を求めることについて (和解及び損害賠償の額の決定について)	R7.12.2 即日原案承認
議案第63号	境町印鑑条例の一部を改正する条例案について	R7.12.5 原案可決
議案第64号	境町議会議員及び境町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案について	R7.12.5 原案可決
議案第65号	境町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について	R7.12.5 原案可決
議案第66号	境町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案について	R7.12.5 原案可決
議案第67号	境町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案について	R7.12.5 原案可決
議案第68号	境町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案について	R7.12.5 原案可決
議案第75号	財産の取得について (電子黒板機器)	R7.12.2 即日原案可決
議案第76号	工事変更請負契約の締結について ((仮称) 境町農作物六次化・SDGs推進拠点施設整備工事)	R7.12.2 即日原案可決
議案第77号	工事変更請負契約の締結について ((仮称) さかいのコメ高付加価値化促進拠点施設整備工事)	R7.12.2 即日原案可決

議案 第78号	工事変更請負契約の締結について ((仮称) さかいの畜産業高付加価値化促進拠点施設整備工事)	R7.12.2 即日原案可決
議案 第79号	工事変更請負契約の締結について ((仮称) SAKAIビックエアパーク 2nd整備工事)	R7.12.2 即日原案可決
議案 第80号	町道路線の認定について (町道1825・7049・7050号線 境町字藤浪・大字西泉田字篠山、字中妻)	R7.12.5 原案可決
議案 第81号	町道路線の認定について (町道7051号線 境町大字上小橋字作兵エ分)	R7.12.5 原案可決
議案 第82号	町道路線の認定について (町道7052号線 境町字龍神)	R7.12.5 原案可決
議案 第83号	町道路線の変更について (町道2205号線 境町大字上小橋字作兵エ分)	R7.12.5 原案可決
議案 第84号	町道路線の変更について (町道2091号線 境町字宮久保・字田通)	R7.12.5 原案可決
議案 第85号	町道路線の廃止について (町道2358号線 境町大字西泉田字中妻)	R7.12.5 原案可決
議案 第86号	町道路線の廃止について (町道2090号線 境町字田通・字上野)	R7.12.5 原案可決
議案 第87号	姉妹都市盟約の締結について (境町と沖縄県国頭村)	R7.12.5 原案可決

議案内容

【条例改正】

・ 境町印鑑条例の一部を改正

住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、印鑑登録証明事務処理要領の一部が改正されたことから、境町印鑑条例の一部を改正するものです。

・ 境町議会議員及び境町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

公職選挙法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、選挙公営限度額を改めるため、境町議会議員及び境町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正するものです。

・ 境町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、選挙長等の報酬の額を改めるため、境町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するものです。

・ 境町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

境町特別職報酬等審議会の答申を受け、町長、副町長及び教育長に地域手当及び業績評価連動手当を支給するため、所要の改正を行うものです。

・ 境町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告を踏まえた国家公務員の給与改定を勘案し、関係条例の一部を改正するものです。

・ 境町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正

児童福祉法等の一部改正に伴い、関係条例の一部を改正するものです。

一般質問



議席10番
田山 文雄 議員

成年後見人制度の
活用促進について

問 認知高齢者の推計人数は600万人を超え、軽度認知障がいの高齢者や精神障がい者、知的障がい者などを合わせると、全国1,200万人に上ると推計され益々成年後見人制度の推進が必要であると思うが当町の取組について伺いたい。

答 現在、町窓口や境町地域包括支援センターにおいて、本人やご家族、入所施設等からの相談に応じ、制度の内容説明や利用に向けた助言を行っております。また、家庭裁判所への申立ての際には必要書類の準備や関係機関との調整など、手続きが円滑に進むよう支援を行っております。

議員提案の窓口一本化については、埼玉県ふじみ野市などの先進事例を研究し、後見人の負担軽減や、制度を必要とする方が適切に利用できる体制の構築に努めてまいりたいと考えております。

(福祉部長)

情報リテラシー教育について

問 インターネットやSNSの利便性が高まる一方で、情報の偏りやフェイクニュースなど個人や社会へ影響を及ぼす事が懸念されています。小中学校の児童生徒に一人一人にタブレット端末が配備され教育DXが推進されていますが、当町においては情報リテラシー教育はどのように取り組んでいるのか伺いたい。

答 小中学校では専門指導員やICTサポーターによる授業を実施し、家庭へのルール作りも働きかけております。情報の真偽を見極める力は、現代社会において非常に重要とされており、今後も外部講師と連携し、冷静な判断ができる情報リテラシー教育を推進してまいりたいと考えております。

(教育次長)



議席3番
枝 史子 議員

給食センターの
建て替えについて

問 建て替えに着手するにあたり、「検討委員会」の設置はいつ頃を想定しているのか町の見解を問う。

答 給食センターの建て替えについて、具体的には、12月下旬に、関係職員が北茨城市の給食センターを見学するという事を調整中でございます。その調査結果を踏まえ、検討委員会の人選を進めた上で、来年の1月には委員会を立ち上げ、第1回を開催したいと考えております。

(町長・副町長)

公共施設の保守・管理・修繕について

問 現在の公共施設の老朽化や不具合の改善を求める声が上がっている

ア) 現在、当町の公共施設における管理方針はどのようになっているのか町の見解を問う。

イ) 今後、老朽化が進んでいる既存の公共施設をどのように管理していく方針なのか町の見解を問う。

答 (ア) 当町では、「境町公共施設総合管理計画」に基づき、計画的な維持補修による長寿命化と、施設ごとの劣化状況や利用状況に応じた修繕や統廃合等により、財政負担の平準化と住民サービス維持の両立を図ることを基本として、管理をおこなっております。

(イ) 老朽化が進んでいる施設については、まず劣化状況を把握し、安全確保を最優先に修繕や必要箇所の補強を実施してまいりたいと考えております。その上で、人口減少や財政見通しを踏まえ、長寿命化工事の実施、施設の集約再編・更新時期の平準化等をおこない、持続可能な施設管理に取り組んでまいりたいと考えております。シンパシーホールについては、老朽化もさることながら、賃借料との兼ね合いも含めて、存続について検討していかなければならないと考えております。

(町長・企画部長)



議席 2 番
染谷 直人 議員

橋本町政12年間の
取組と実績について

問 ①負の遺産となっていた懸案の処理について
ア) 土地公社の借金、食肉処理場跡地、雇用促進住宅、借地の賃料等の固定経費の圧縮など、長年の懸案となっていた案件について、これまでの処理の経過と実績を伺いたい。

答 就任当初、土地公社の借金、と場跡地、雇用促進住宅、借地料など、境町には長年先送りされてきた課題が数多く存在していました。そこで町長就任後、まず全体像を把握するため「やることリスト」を作成し、優先順位を付けながら解決できるものから一つずつ着実に処理してきました。

雇用促進住宅については、当初ほとんど入居者がいない状況で国から約1億円での取得打診がありましたが、町の将来負担を見据え粘り強く交渉を重ね、最終的に約2,500万円で22部屋を取得しました。補助金も活用した結果、現在は年間約2,500万円の家賃収入を生み出し、町の安定した自主財源へと転換されています。

また、借地料についても、平成26年度約4,000万円から令和7年度約3,000万円規模まで圧縮しており、「払い続ける固定費はできる限り解消する」という考えのもと、財政体質の改善に取り組んできました。(町長)

問 ②教育の充実について

ア) 学童保育は、受け入れ数を始めどのように変わったか伺いたい。

イ) 体育館を始めエアコンの設置やLED化などの整備状況について伺いたい。

ウ) 英語教育の充実の成果について伺いたい。

答 学童保育については、就任当初は一か所に集約した体制でしたが、保護者からの「学校ごとに設置してほしい」という声を踏まえ、各学校区ごとに放課後児童クラブを順次整備してきました。その結果、受け入れ定員は約200人規模から現在約440人へと拡大し、今後は高学年対応を含め約540人規模まで拡充する見込みです。あわせて、夏休みなど長



議席 4 番
鈴木 英明 議員

境町モデルと次期
町長選について

問 3期12年の施策の境町モデルの成果についての総括についてお伺いいたします。

答 境町モデルにつきましては、隈研吾氏設計のS-Lab1(干し芋工場・ワイン工房)を皮切りに多くの施設を造らせていただきました。干し芋工場、ワイン工場、PFI住宅、グランピング施設、サーフィン場、などを展開し、今では、内閣府のモデル事業や、参考資料にも境町の取組が載るようになってい

ます。
境町モデルとは、官民連携で、国の補助金を活用し、境町が投資した分は、家賃で回収するという、新しい自治体の収益モデルです。令和7年は1億5,577万円の家賃が境町に入ってくる予定です。また、境町モデルについては、つくばみらい市、山梨県笛吹市。地域優良賃貸住宅については、茨城県五霞町、八千代町、つくばみらい市といった自治体で、境町を参考に横展開されています。境町モデルで、投資した各施設については、優良企業と連携しているのもポイントで、長く家賃を払っていただける企業というのもポイントです。様々な経済状況下でも、しっかりと稼げる自治体として、細心の注意を払いながら進めてまいります。(町長)

問 今後の境町の町政運営についてお伺いいたします。

答 この12年間は、財政再建、人口減対策、人の創生に力を入れてまいりました。

今後の境町の町政運営については、財政が改善したことにより、稼ぐ施設ではなく、老朽化した施設のリニューアルに取り組める段階にきていると考えています。老朽化した、給食センターや、賃借料が高い施設の返還など、今後数十年の未来を見据えた公共投資をしてまいります。また、生活圈道路についても住民の皆様が身近に感じていることを改善していき、物価高騰対策等、住民の皆様が境町に住んでよかった、住み続けられる町にするために努力してまいります。(町長)

問 ④財政の改善について

ア) この12年間で稼いだ金額（ふるさと納税、企業版ふるさと納税、補助金、固定資産税等）の金額について伺いたい。

イ) 財政の健全度の変化及び今後の財政予測について伺いたい。

答 財政面では「稼ぐ自治体」を掲げ、ふるさと納税、企業版ふるさと納税、補助金の獲得、企業誘致による固定資産税増など、あらゆる財源確保策に取り組んできました。

ふるさと納税は、就任当初ほぼ実績がない状態から大きく伸び、累計で数百億円規模となり、町の財政を支える柱の一つとなっています。企業版ふるさと納税も累計約26億円規模に達し、教育や子育て、国際交流、防災など多様な施策の財源として活用されています。

補助金についても事業費の約半分をカバーする重要な財源となり、基金残高の積み増しや実質公債費比率の改善につながっています。

今後は、ふるさと納税を過度に見込まない保守的な財政計画のもと、持続可能な財政運営を行っていきます。（町長）

問 ⑤災害や非常事への対応について

ア) 関東東北豪雨で災害対応及び今日活かされている教訓について伺いたい。

イ) コロナ禍で実施した主な対策について伺いたい。

答 関東東北豪雨では、被害認定や制度適用の判断が復旧支援の可否を大きく左右しました。

町ではエリア指定による対応を行うことで災害救助法の適用につなげ、被災者支援や復旧財源の確保を実現しました。この経験から、初動対応の重要性や制度を正しく理解することが被害軽減に直結することを学び、現在の防災訓練や避難体制強化に活かしています。

コロナ禍では、マスクや消毒液の配布、PCR検査体制の整備、ワクチン接種を迅速に進めるとともに、企業版ふるさと納税を活用して必要物資を確保しました。

災害や感染症への対応は、平時の備えと知識の積み重ねが結果を左右するため、今後も体制強化に努めていきます。（町長）

期休業中の昼食提供についても、給食センターの活用など現場の実情に即した工夫を行い、保護者負担の軽減を図っています。

体育館へのエアコン設置は、防災指定を行うことで補助制度を最大限活用し、小中学校すべてへの整備を進めました。LED化についても、蛍光灯廃止を見据え計画的に更新を進めています。

英語教育では、英検3級保有率が大幅に向上し、境町モデルとして県内外へ横展開される取り組みとなっています。（町長）



問 ③公共交通の充実について

ア) 自動運転バス及び高速バスの誘致、デマンドバスの導入等の実績について伺いたい。

イ) スクールバスの充実について伺いたい。

答 自動運転バスは導入当初、安全性や実用性について評価が分かれていましたが、継続的な運行を通じて利用者の理解と信頼が深まり、累計利用者数も着実に増加しています。免許返納後の高齢者の外出機会確保や、町外からの視察・注目度向上など、導入効果は徐々に表れていると認識しています。

高速バスについては、東京駅方面を中心に月5,000人を超える利用があり、鉄道駅のない境町にとって欠かせない広域交通手段となっています。

AIデマンドバスは、自動運転バスが走らない地域を補完する役割として導入し、登録者・利用者ともに増加しています。

スクールバスについても、通学距離や安全面を考慮し運行基準を見直した結果、登下校時の利用率が高まり、保護者や児童の安心につながっています。（町長）



議会活動

ホノルル市との交流記念

11月17日、ハワイ州ホノルル市を訪問し、ホノルル市長・市議会と会談し、教育・文化等での協力拡大について意見交換を行ってまいりました。また、交流を記念し、ハワイの住民や観光客に境町の花火を紹介してまいりました。

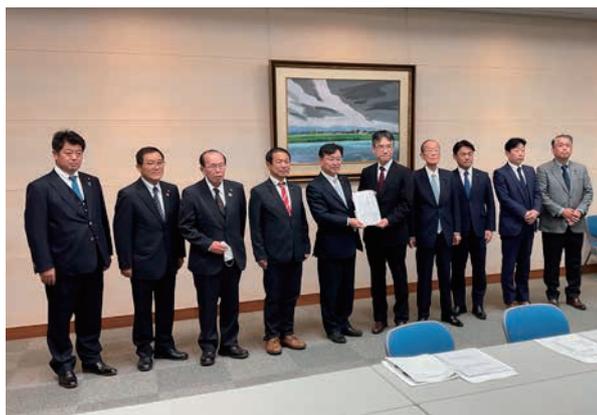
境町とホノルル市は、子どもたちを中心としたホームステイ交流や学校訪問など、相互理解を深めるプログラムが継続的に実施しております。議会といたしましても今後更に、国際交流の深化に向け町と協力してまいります。



期成同盟会及び県市町議員連盟合同要望活動

11月25日、茨城県庁において、国道354号古河境バイパス整備促進期成同盟会及び国道354号古河境間整備促進県市町議員連盟と合同により、要望活動に参加してまいりました。

今回の活動では、茨城県議会議長、並びに、茨城県土木部長へ、地域創生及び国土強靱化を推進しストック効果を早期に発揮させるため、早期開通に向け十分な事業費の確保や事業の推進を求める要望書を提出いたしました。



アルゼンチンの日の集い

12月22日、長田小学校において「第36回アルゼンチンの日の集い」が開催されました。

集いには、駐日アルゼンチン大使館より、エドゥアルド・テンプーネ特命全権大使をお迎えし、アルゼンチンの国花であるセイボの苗木をいただき、植樹式や児童による合唱や合奏等の発表が行われました。

今後も、境町とアルゼンチン共和国との交流を深化し、国際交流の推進を協力してまいります。



議会日誌

【10月】
20日 全員協議会
28日 議会運営委員会
30日 茨城県町村議長行政視察

【11月】
25日 一般質問通告

国道354号古河境バイパス整備促進期成同盟会及び国道354号古河境間整備促進県市町議員連盟合同要望活動
議会運営委員会
27日 国道354号整備促進協議会要望活動

【12月】

2日 第4回定例会（開会）
3日 一般質問
4日 常任委員会
5日 定例会（閉会）
22日 アルゼンチンの日の集い

※その他、自治体議会議員行政視察、各種団体の会議等、代表者出席あります。

編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 青木 輝明 副委員長 染谷 直人 委員 岩崎 博 委員 間瀬 宏宣